



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第399号

新しい年が明るい年でありますように 信徒会長 上川 直子

2021年のスタートにあたって、新たな気持ちで1年を過ごしたいですが、やはり昨年の出来事は外せません。本当に色々な事がありました。特に緊急事態宣言と言う経験したことのない日々。子ども達にとっては辛い期間だったでしょう。私達もミサが中止となりました。全ての行事が中止や延期と歯がゆい気持ちになった事は忘れられません。すっかり私達の日常生活も変わってしまいました。

コロナ第3波と言われている中、昨年と違う年明けを過ごされていると思います。離れた家族、親族に簡単には会えない。今も続く3密を避けながらの生活。今もなおコロナ禍の脅威に負けないようにと予防しか出来ない現状です。しかし、ミサ再開から何事もなく年を越せたのが何より嬉しく思います。同じ場所で活動している水巻教会の信徒、水巻聖母幼稚園、マリア子どもの家の園児達、そして携わる全ての方々がこれからも変わらない日々を送る為、気を緩めず皆さんには昨年同様、ミサにあたっての予防と注意を守って頂きたいと思います。

2021年の予定、行事もその時の現状を見ながらとなります。乗り越えられない試練はない、そう信じて昨年よりも新しい形で前に進めるようにと願っています。そして何かいいアイデアなどあれば是非、教えてください。皆さんの意見を生かしながら新しい水巻教会の形が出来ればと思っています。

そして昨年もベトナムの青年達には本当に助けられました。水巻教会には彼等と同じぐらいの年齢がない中、本当に大きな支えとなっています。彼等に感謝の言葉を伝えたいと思います。

Cảm ơn bạn đã ghé thăm Nhà thờ Mizumaki. Sự hợp tác của mọi người là sự hỗ trợ đặc lực cho chúng tôi. Nó làm lòng tôi ấm lại với những cái chuông mà ai cũng nghĩ đến. Cảm ơn bạn đã thổi một làn gió mới vào Nhà thờ Mizumaki. Tôi

委員会報告	2面
「インマヌエル」それは	3面
水巻教会の世界のなかま	4面
幼稚園から	5面
教会学校より	6面
ペルーから	7面
お知らせ	8面

nghe bạn đang gặp khó khăn trong vòng hào quang. Như trước đây, tôi mong rằng ngày mà tôi có thể đến và đi mỗi nước sẽ đến sớm. Cầu mong Corona hội tụ càng sớm càng tốt. Xin hãy tự chăm sóc bản thân mình.

(いつも水巻教会に足を運んでくれてありがとうございます。みんなの協力が私達にとって大きな支えとなっています。皆さんの思いがこもった馬小屋に心が温かくなりまし

た。水巻教会に新しい風を吹き込んでくれてありがとうございます。コロナ禍の中、辛い日々を過ごされていると思います。以前の様に、各国に行き来出来る日が早く来ることを願っています。早くコロナが収束しますように。皆さんも体に気をつけてお過ごしください。)

信仰とは希望のないところに希望を見つけ出す力。

神様に出来ない事はない。色々ありますが、2021年、私達の希望を皆さんで築ける1年になりますように。

委員会等報告

2020年12月分

12月度小教区委員会 12月6日

1. 行事予定

- ・1月1日(金) 元旦ミサ 10:00～
成人のお祝い、車の祝別。ミサは1回のみ
- ・1月10日(日) 小教区委員会
馬小屋片付け
- ・1月22日(金) 委員会 19:00
- ・1月24日(日) 四旬節の手紙準備
- ・2月 7日(日) 小教区委員
四旬節の手紙発送
- ・2月17日(水) 灰の水曜日

2. 議題

(1) 各委員会報告

①広報委員会

3回目のホームページ会合・勉強会:11/29

②典礼委員会

クリスマスの典礼は教区の指針通り進める

2) 地区名簿について

- ・総務の取りまとめで名簿を最新化しまし

た。チェックをお願いします。

・チェックの観点は、教会から連絡して良い方々をお願いします。

(3) 教会会計報告

- ・素案を説明。この内容で教区へ報告する。

(4) 次期役員選出

- ・選挙管理委員会は小教区委員会メンバーで構成することとする。地区集会で次期役員の推薦をお願いしたい。2月の小教区委員会で確認する。特に10年以上担当いただいた方々は交代が必要です。

(5) 幼稚園の外門について

- ・園児が多くなり、園庭拡大のため、スロープを埋め、園庭にする計画があります。
- ・車は現在の門からは入れなくなります。(園庭への入口は、教会側の門から)

問題点などあれば、意見をお願いします。

「インマヌエル」それは「神、わたしたちと共に」

主任司祭 フランシスコ・アシジ 谷口尚志

明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍にあって、多くのご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。今年も支え合う共同体の姿を大切にしながら歩んでまいりましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

年末年始の頃にいつも感じていることなのですが、クリスマスから降誕節がしばらく続くために、どこか新年を迎えるという感覚がありません。しかも、最近では正月といってもスーパーだけでなくショッピングモールなども早くから開いているため、どこか正月というものすら意識することなく過ぎ去っていくようにも感じます。皆さんはいかがでしょう。

昨年は新型コロナウイルスに翻弄され続けた一年となってしまいましたが、今年もこれからどうなるのかまだまだ読めない状況が続いています。新年を迎えたと言っても、ただただ昨年の延長を過ごしているようです。いい加減に落ち着いてほしいと誰もが願っていることでしょう。また、医療従事者、職を失った方、家庭の事情を抱えながらも必死に生きる方などの様子を見て、自分に何ができるだろうかと自問し、できることを模索しつつ実際に動きまわっていることでしょう。そんな一人ひとりが今後も感染予防を徹底しながら、地道に支え合うことをとおして少しでもすべての人に笑顔を届けることができますように。

さて、クリスマスの時にわたしたちがお迎えしたイエス様。新年を迎え、どこにいらっしゃるのかを考えたことがあるでしょうか。飼いや葉桶に寝かせられたままでいらっしゃるのでしょうか？または、マリア様やヨセフ様がヘロデからだけでなく、わたしたちからも遠ざけるためにどこかに連れて行かれたのでしょうか？いえ、違います！イエス様はわたしたちの内におられるのです。なぜならばイエス様は「インマヌエル」としてお生まれになったからです（イザヤ7・14参照）。わたしたちはコロナ禍が続く日々だからこそ、あらためてクリスマスを迎えたことの意味を考えなければなりません。クリスマスはイエス様がわたしたちの目の前でお生まれになったと同時に、わたしたちの中において下さった出来事なのです。コロナ禍が付きまとう日々と向き合わなければならないのなら、イエス様がわたしたちの中に居続ける日々ともしっかり向き合わなければならないのです。イエス様と共にこの一年を過ごすことを大切にしながら、支え合う姿を深めていきましょう。

水巻教会の世界のなかま となりひと

シリーズ 1 回目はミサで侍者の奉仕を務めて下さっている、クンさん(ベトナム人)の紹介です。

①youは何しに日本へ？

溶接工実習生として2017年に来日して3年が経過。今年3月には任期満了となって帰国する予定でしたが、コロナ禍で帰国できません。半年間の在留延長のビザを受けて、今までの職場で働いています。当初同僚は5人だったが2人が脱落して今は3人が技術を学んで、帰国の時期を待っている。

②実習先とお住まいは何方ですか？

工場が有る遠賀町へは、同僚とのシェアハウス(戸建借家)がある水巻町猪熊から自転車で25分かかって通勤している。

③今何か困ってることは有りますか？

借家には暖房設備が無いのでこれから朝晩の冷込みが厳しくなると辛い。でも寝る時は電気毛布があるから、何とか我慢している。

★インタビュー中、発音が聞き取れず岩本さんの助けを何度もお借りしました。感謝です。

実はクンさんには本国に奥様がお待ちの様です。一日も早く帰国できる様に祈ります。

★クンさんへの暖房器具をご提供して下さる方がいらっしゃいましたら広報までご連絡下さい。頂きに伺います。



クンさん



広報記者 福嶋東三子



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 1月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

12月に「クリスマス生活発表会」と「クリスマス会」を行いました。今年の発表会はコロナウイルス感染予防のため観覧は実施できませんでしたが、子ども達は目の前のことに一生懸命取り組みました。年長児は聖劇に取り組みました。神父様からご降誕のお話を聞いた時から、胸を弾ませ、登場人物たちのイエス様のご誕生を祝福する心を感じながら取り組みました。

子どもたちが毎年楽しみにしているクリスマス。この特別な一日を、子ども達が祝福の気持ちを感じながら過ごせると良いです。

また畑では、大根やニンジン収穫できました。二人がかりで引っこ抜くほどの立派な大根に、子ども達の歓声が響き渡りました。どうやって食べたい?と聞くと「おでん」「煮物」と以外にも大人向きの料理が出てきて、驚きました!

【始園式】

日時：1月8日 (金)

【おもちつき】

日時：1月16日 (土)



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559
e-mail: contactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>



クリスマスが近づき、みんなでクリスマスツリーに飾り付けをしました。最後に電飾も付けて、とてもきれいです。イエス様を抱いたマリア様の像の下方で、毎日子ども達を楽しい気持ちにしてくれます。また神父様がお部屋にいられて、1本目のろうそくに火を灯して待降のお話をして下さいました。一人ひとりが神様の愛で満たされますように!先日、幼稚園児さんが畑の大根を抜いているのに、マリアの1・2歳児も加えて頂きました。人参やサツマイモ、ジャガイモも出てきて大喜びでした。



TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家
園長 水口 由美

教職員 一同



教会学校のページ



待降節に入った11月の第四日曜日の教会学校は、皆さんとクリスマスに向けた準備のお手伝いをしました。子供たちは昨年と同様、クリスマスツリーの飾り付けに加えて、今年は馬小屋の作成にも参加しました。大切な道具一つ一つを並べて置き、外へ出てはきれいに色づいた楓や銀杏の落葉を集めて、馬小屋の周りに敷くなど素敵な馬小屋の完成に活躍してくれました。この時期に抱くイエス様誕生までのワクワクする思いを準備の中で感じることも出来たのではないのでしょうか。

1年以上にわたり準備をしてきた初聖体クラスの勉強もいよいよ集大成を迎えました。初聖体クラス最後の勉強、なんと18回目ですが、「ゆるしのひせき」についてです。神様と自分が真正面から向き合って正直にお話する、とても大きくて大切な秘跡です。初めてのゆるしの秘跡を受けたのち、いよいよ初聖体式です。皆さんがこの「からしだね」を手にする頃には、5人の女の子たちは無事にその日を終えていることでしょう。

どうか、神様の子として次のステップを踏み出す子供たちのために、お祈りと応援をこれからもよろしくお願いいたします。



ペルーからの手紙

水巻カトリック教会 レプトン会の皆様へ

煉獄の靈魂の慰めである聖マリア 彼らのために祈ってください。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

暦の上では夏が近づいたペルー、リマですが、朝晩はまだ肌寒い日が続いており、気候が変動しているのを肌で感じています。ペルーのシスターたちは、おかげさまで元気に過ごさせていただいています。

今年3月に始まった新型コロナウイルスの流行により、ペルーは先の見通しが立たない、弱者がますます生きる術を失ってしまう現状に直面しています。

貧しい地域で教育活動を続けているマリア・タキ保育園の周りでも、園児の家族や親せき、関係者が多数、ウィルス感染して命を落としたり、職を失って生活の糧を得ることが困難な状況に追い込まれています。園児たちは今、メディアをとおして家庭学習を続けていますが、月謝が払えないために、公立の保育園に変更する人たちも増えており、保育園の運営も非常に難しくなっています。この状態がいつまで続くのか、来年はどのような教育課程が展開できるのか、計画することが困難な状態です。

そのような中であって、レプトン会の皆様からの貴重な援助金は、園児の心身の教育のために日々心を砕いている教職員たちの生活を支えるため、大切にに使わせていただいています。神は願い求める者に対して、どんな時にも助けの手を差し伸べてくださることを、私たちは日々感謝のうちに実感しています。小さく、貧しくされた人たちの中であって、彼らと苦しみを分かち合い、貧しいキリストに仕えるカリタスの使命を生きる中で、レプトン会の皆さまもその精神を共有してくださっていることに心から感謝しています。

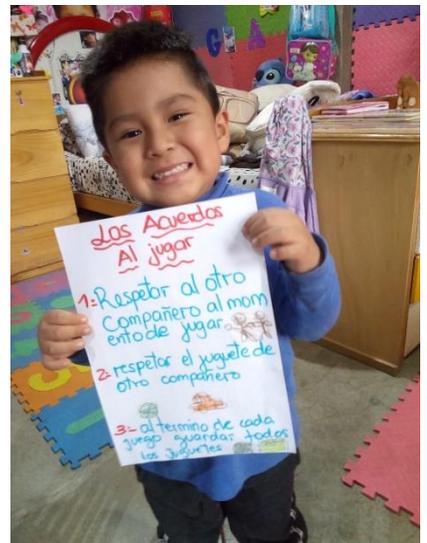
いただいた援助金は、別紙のようにマリア・タキ保育園の教職委員の給料として使わせていただきましたので、ご報告申し上げます。

レプトン会の皆様の上に、聖母のまなざしがいつも注がれ、お一人おひとりに豊かな恵みがありますよう、感謝のうちにお祈りさせていただいております。

心からの感謝を込めて！！

2020年11月24日

リマの聖女ローザ準管区ペルー共同体
管区長 シスターテレジア川端キ又五
会計担当 シスターマリー中村英子



1月のおしらせ

★特別献金★

- ・11月15日 世界広報の日献金
35,500円
 - ・12月6日 宣教地召命促進の日献金
29,500円
- ご協力、ありがとうございました。

★街頭募金（教会内）★

- ・12月13日 52,820円
- 集まったお金は、日本赤十字社「海外たすけあい」寄付金に送ります。
- ご協力、ありがとうございました。

★元旦ミサ★

日 時：1月1日(金)
午前10時～ 1回のみ
成人のお祝い、車の祝別があります。
新年茶話会はありません。

★ベトナム語のミサ★

日 時：1月2日(土) 午前9時～
司 式：ピーター・トアイ神父様
箱崎教会

★アンケートのお願い★

これからの福岡教区の歩みのための司教様からのアンケートが来ています。締め切りは1月17日です。

皆様の協力をお願いします。

★12月号の訂正★

先月号の「ガンバ2」「お花を生ける会」の記事文中「馬小屋飾りつけ」は、「生ま小屋」が正です。また、8行目に打ち込み漏れがありました。「上手とか下手ではなく与えられている範囲内のお花を心を込めて丁寧に生けることです。祭壇に飾るお花は、たたお御堂を飾るためだけではありません。」が正です。併せて訂正の上、お詫び申します。

人 - ひ と

【帰天】安らかに！

12月14日
◇ミカエル 片岡 秀美さん
中間地区



ベトレヘムの星が、今年、クリスマスの夜空に

赤間地区 三谷 尚

夏頃、南の空に、かなり明るい星が2個並んで見えた事にお気づきになりましたか。木星と土星でした。この2大惑星が並ぶことは、実に60年に1回しか起きません。幸い、若干離れていた2惑星は数か月で距離を縮めてきました。同時に、両者は次第に光度を弱くし、両者揃って西の空に移動していきましたが、互いに近づいてきた両者は、クリスマス前後にほとんど同じ場所に並びます。2惑星は日没後、西の空にしばらく見えるのみになりましたが、かの東方から来た博士は西に向かったからには、西の空に輝く星を目指して歩いたはずです。実に、イエス様の降誕ごろ、木星と土星が並んで輝いていたという天文学による推測もあるようです。今年、西の空に並ぶ2つの惑星を見て、ベトレヘムの星とみなし、イエス様の御降誕を想像されてはいかがでしょうか？